

テイコプラニン血中濃度のトラフレベルにおける治療目標値

篠原義剛*, 江藤精二, 一木孝治*, 高橋浩二郎*

TDM 研究, **21** (2), 115-116(2004)

Therapeutic Ranges of the Serum Trough Levels of Teicoplanin

Yoshitake Shinohara*, Seiji Eto, Takaharu Ichiki*, and Kojiro Takahashi*

抄録 テイコプラニン(TEIC)の投与量は、トラフ値として5～10 μ g/mLを目安に設定されることが多い。しかしながら、この濃度では効果が不十分な症例にしばしば遭遇する。そこで、重篤なMRSA感染症と診断された患者において、TEICトラフ値と臨床効果及び副作用との関連性について検討した。臨床効果は日本化学療法学会抗菌薬臨床評価法に準じて行った。その結果、有効群のトラフ値が $15.6 \pm 3.4 \mu\text{g/mL}$ だったのに対して、無効群においては $9.1 \pm 3.5 \mu\text{g/mL}$ と有意な差が認められた。また、有効群においては投与を中止しなければならぬような副作用は発現しなかった。したがって、重篤なMRSA感染症の患者においては、TEICのトラフ血中濃度として15 μ g/mLを治療目標値とすることが推奨される。

* Department of Hospital Pharmacy, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Japan

産業医科大学病院薬剤部